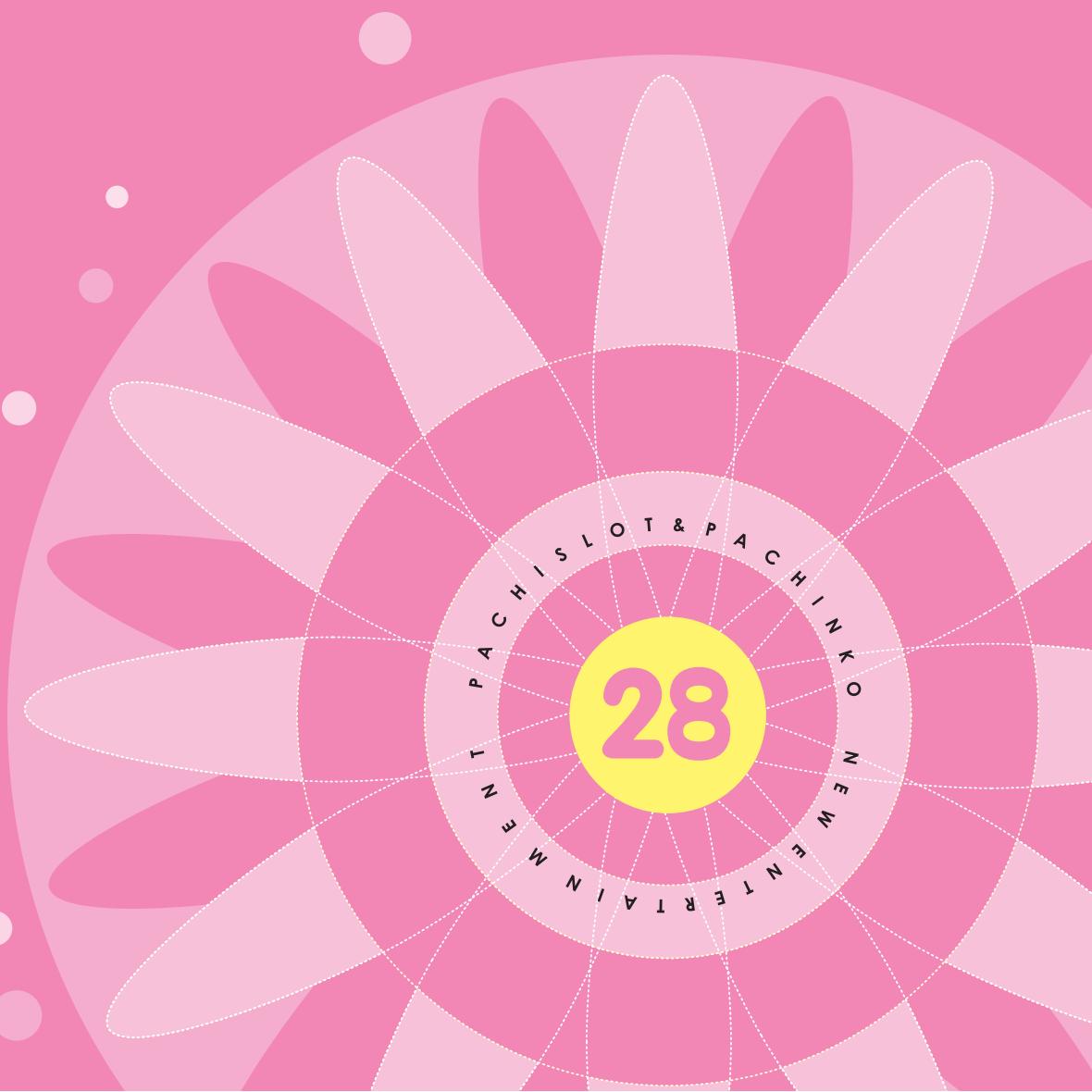


中間事業報告書

2002年4月1日～2002年9月30日



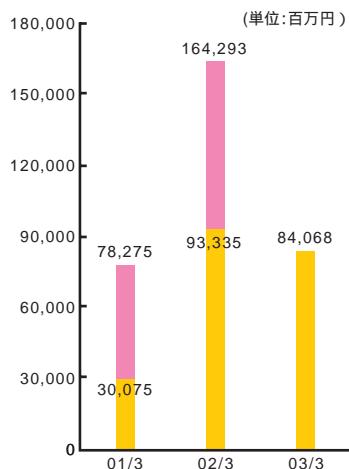
財務ハイライト(連結決算)

(単位:百万円)

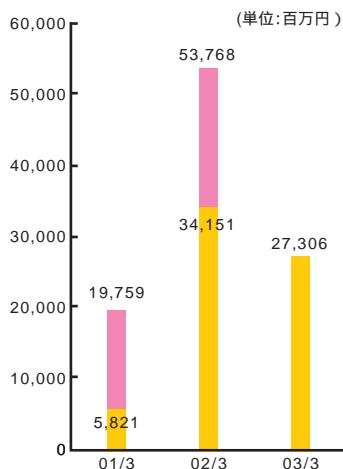
	2003年3月期中間	2002年3月期	2001年3月期
	(自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)
売上高	84,068	164,293	78,275
経常利益	27,306	53,768	19,759
当期純利益	10,836	23,906	10,748
1株当たり当期純利益(円)	203.29	452.44	423.98
総資産	126,270	126,803	78,694
株主資本	63,412	57,370	29,122

(注)1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数により算出しております。

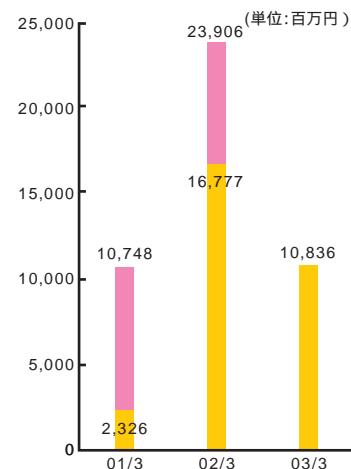
売上高



経常利益



当期純利益



通期
 中間期



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、誠に有難うございます。

当中間期の業績をご報告させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、アジア向けの輸出を中心とした生産の増加などから景気に持ち直しの動きが見られるものの、完全失業率が高水準で推移するなど雇用・所得環境は依然として厳しく、内需の低迷さらには金融システム不安などから、先行きに対する懸念は一層高まりつつあります。

こうした経営環境の中、当社は主力事業であるパチスロ事業においてトップシェアの継続的な獲得を目指し、ファン及びホール双方に支持される、斬新な機能を搭載したパチスロ機の供給に注力してまいりました。昨年から販売を継続し、ゲーム性の面で高い評価をいただいているパチスロ機「サラリーマン金太郎」は今上期だけで約5万3千台を販売し、累計で10万台を越える販売を記録

しました。また、昨年、大ヒットとなったパチスロ機「獣王」の後継機として「猛獣王S」を販売しました。お馴染みのキャラクターやサバンナチャンス等、「獣王」の魅力はそのままに、初代よりもエンタテインメント性を向上させ、高い評価をいただいております。発売開始から数週間にもかかわらず、今上期だけで約6万台の販売を記録しました。

パチンコ事業においては中期的に10%のシェア獲得を目指し、開発力の強化を推進いたしました。今上期にパチンコメーカー団体である日本遊技機工業組合の内規変更があり、その対応のため、新機種投入時期を調整したことから上期の販売は約3万3千台にとどまったものの、中期的には更なる開発力の強化を図り、パチンコ事業におけるブランド力の確立を目指します。

NEWS事業におきましてはパチスロ機を業務用アミューズメント向けに仕様を変更した「パチスロレボリューションシリーズ」の販売、パチスロシミュレーションゲームソフトの開発など、シナジー効果を図り、効率的な事業展開を行ってまいりました。また、世界的な展開を目指した新型業務用ゲーム機「ATOMISWAVE(アトミスウェイブ)」の開発及び今後市場の拡大が予想される海外の家庭用ゲームソフト市場に向けた有力タイトルの開発を推進いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の連結売上高は84,068百万円(対前期比9.9%減)、連結経常利益は27,306百万円(対前期比20.0%減)、連結純利益は10,836百万円(対前期比35.4%減)となりました。

当初計画してまいりましたとおり、FIFAワールドカップの開催に伴う新台入れ替えの自粛の影響があり、また、パチンコ機の販売スケジュールの変更及び子会社整理損が発生したことから、今上期は前年同期比減収減益となったものの、当初計画に沿って順調に推移していると考えています。通期事業計画につきましては、人気パチスロ機の継続的な販売、パチンコ機販売機種数の増加、開発を推進してまいりましたATOMISWAVEの具体的製品化により、連結売上高190,000百万円(対前期比15.6%増)、連結経常利益61,000百万円(対前期比13.5%増)、連結純利益27,500百万円(対前期比15.0%増)を目指してまいります。

尚、期末配当につきましては従来発表どおり、1株につき普通配当50円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

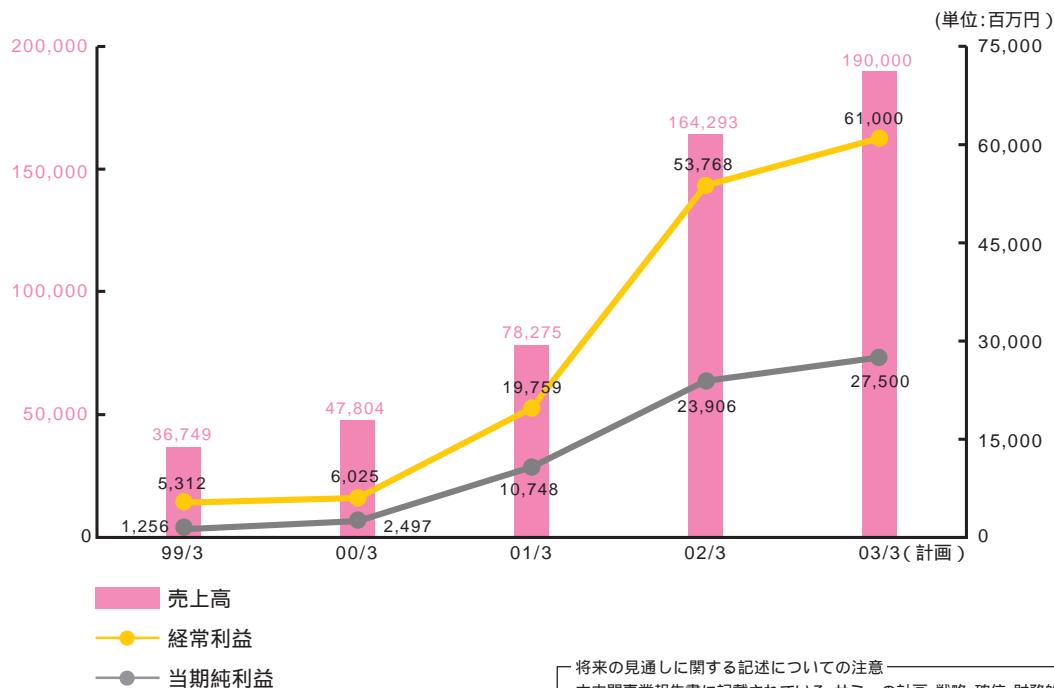
里見 浩

(単位:百万円)

	1999年3月期	2000年3月期	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期(計画)	前期比
売上高	36,749	47,804	78,275	164,293	190,000	16%増
経常利益	5,312	6,025	19,759	53,768	61,000	14%増
当期純利益	1,256	2,497	10,748	23,906	27,500	15%増
発行済株式総数	7,562,300	12,643,450	25,602,400	53,411,800		
1株当たり当期純利益(円)	166.15円	212.11円	423.98円	452.44円	518.83円	

1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数により算出しています。

2003年3月期(計画)は2002年9月末発行済株式総数から自己株式数を控除した53,003,500株にて算出しています。

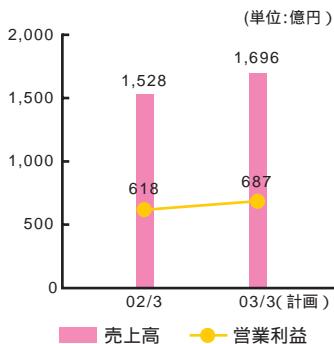


将来の見通しに関する記述についての注意

本中間事業報告書に記載されている、サミーの計画、戦略、確信、財務的予測などのうち、歴史的事実でないものはサミーの将来の業績等に関する見通しであります。これらはサミーの経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。

連結セグメント別

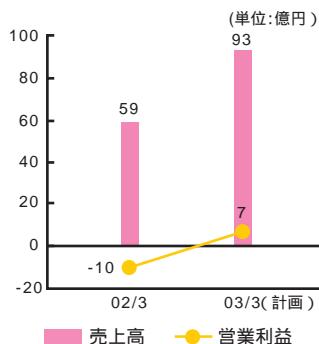
遊技機



パチスロ販売計画台数
47万台(前期:42万3千台)
パチンコ販売計画台数
14万台(前期:9万台)

パチスロにおいては販売機種の受注が好調であり、通期の販売計画を当初計画していた40万台から47万台に修正しました。これは、培ってきた強力な開発力やブランドの浸透によるものです。パチンコにおいては内規変更に対応するため販売スケジュールを調整し、通期販売計画を25万台から14万台に修正しました。開発力の更なる強化を図り、パチンコ機におけるサミーブランドの強化が今後の課題です。

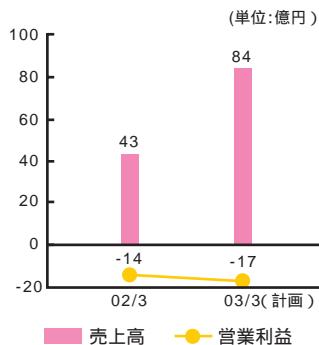
業務用アミューズメント機器



ATOMISWAVE計画
売上25億円(今下期発売予定)
開発費10億円(前期:2.4億円)
パチスロ・パチンコ レポリューション計画
売上17億円(前期13億円)

業務用アミューズメント機器においては、定番化し継続的にヒットしている「パチスロレポリューション」をはじめ、今後も遊技機事業とのシナジー効果を図った製品を投入していきます。さらに、2001年より「システムX」のコードネームで開発をスタートした「ATOMISWAVE(アトミスウェイブ)」の具体的製品化等により、通期においても黒字転換を見込んでいます。

家庭用ゲームソフト



主力販売タイトル
パチスロシミュレーションソフト3タイトル
合計75万本超、ギルティギア 22万本
試験研究費
主力タイトル開発費5億円
Sammy Studios 開発費

家庭用ゲームソフト部門においては、人気パチスロ機のシミュレーションソフトや人気格闘ゲーム「GUILTY GEAR XX(ギルティギア イグゼクス)」の販売を計画しています。Sammy Studiosの設立など中長期的成長を目指した開発先行投資の影響により、営業利益ベースでは-17億円を見込んでいます。

パチンコ・パチスロ産業フェア2002



©Sammy 2002

パチンコ・パチスロ業界最大のイベント「パチンコ・パチスロ産業フェア2002」が2002年8月28日、29日の2日間にわたり、幕張メッセにて開催されました。最新機種が多数展示されるということもあり、注目度も非常に高く、総来場者数は前回の産業フェアを約2万人上回る、73,857人となりました。

当社はグループ会社の(株)ロデオ、秀工電子(株)及び(株)サミーデザインと共に、新しい時代を拓く新製品やそれを支える技術を紹介するブースを出展いたしました。最新機種としましてはパチスロ機「猛獣王S」、パチンコ機「CR玉緒でドッカン!!」を展示いたしました。「猛獣王S」は大人気機種「獣王」の後継機。好評だった「獣王」の魅力はそのままに、初代よりもエンタテインメント性を向上させたパチスロ機です。また、「猛獣王S」は高性能グラフィックチップを搭載しており、従来機と比べ液晶画面の表現力を格段に向上させております。「CR玉緒でドッカン!!」は幅広い世代に人気のある女優、中村玉緒さんをキャラクターにしたパチンコ機です。液晶画面には、特別な眼鏡をかけずに3D画像を観ることができる3D画像表示技術「ボルマトリクス」を搭載しており、映像が画面より飛び出し、今までのパチンコ機にはなかった演出を可能にしています。



アミューズメントマシンショー



2002年9月19日から21日までの3日間、最新の技術を結集した、世界最高水準のアミューズメント関連機器が一堂に会する娯楽機器産業の総合展示会「第40回アミューズメントマシンショー」が東京国際展示場にて開催され、3万人を越える入場者数を記録しました。

当社は「システムX」というコードネームで開発を進めていた、今までにない新しいコンセプトの業務用ゲーム機「ATOMISWAVE（アトミスウェイブ）」を正式発表し、実機を展示いたしました。「ATOMISWAVE」は、高性能グラフィックチップを搭載し、低価格・高品質を実現しており、業務用ゲーム機のプラットフォームとして世界的に展開を図ります。ゲームタイトル交換の際には、筐体内のカセットと外部コントローラー等の交換だけで済む高い汎用性を持っております。これにより従来機になかった優れたコストパフォーマンスを実現し、今までゲーム機を設置していなかったエリアでの販売が可能となり、新たな市場の創造を目指して参ります。

また、パチスロ機、パチンコ機をアミューズメント向けに仕様を変更した「レボリューションⅡ」や幅広い年齢層に向けたメダルゲームなど、すでに市場より高い評価を得ているシリーズの新製品も展示いたしました。

東京ゲームショー



©Sammy 2002/1998 - 2002 ARC SYSTEM WORKS Co., Ltd.

ゲームソフトをはじめとするコンピュータエンタテインメントの祭典「東京ゲームショー2002」が9月20日から22日まで、幕張メッセにて開催されました。

当社はプレイステーション2 向けの人気格闘ゲームの最新作「GUILTY GEAR XX(ギルティギア イグゼクス)」をはじめとした最新家庭用ゲームソフトを展示し、22日には「GUILTY GEAR XX」の全国大会予選が開催され、数多くの参加者にお集りいただきました。携帯電話・パソコン向けのパチスロコンテンツ「パチスロ777タウン」、「スリーセブタウン・ドット・ネット」等も展示いたしました。ブースには試遊を待つ方々やイベントを観覧される方々で大盛況となりました。

遊技機事業

パチスロ遊技機におきましては、ファンのみならずパチンコホールのニーズにマッチした製品をタイムリーに供給することに努め、Rodeoブランドの「サラリーマン金太郎」が引き続き根強い人気を博し53,665台の販売となったほか、昨年の大ヒット機種「獣王」の後継機である「猛獣王S」が9月の発売開始からわずか数週間にもかかわらず60,205台の販売となり、当上半期の販売台数は234,307台と好調を維持しております。

一方のパチンコ遊技機におきましては、日本遊技機工業組合の内規変更の対応により新機種の投入時期を調整したこともあり、販売台数は33,765台にとどまりました。

以上の結果、売上高は767億18百万円(前年同期比11.7%の減)、営業利益は320億40百万円(同15.6%の減)となりました。

当上半期の主要販売機種名および販売台数

(単位:台)

パチスロ遊技機		
猛獣王S	(Sammy)	60,205
ハクシヨン大魔王	(Sammy)	44,874
サラリーマン金太郎	(Rodeo)	53,665
ギンギン丸	(Rodeo)	31,599
その他		43,964
合計		234,307
パチンコ遊技機		
CR ガッチャマン		22,575
CR 玉緒でドッカン!!		8,275
その他		2,915
合計		33,765

NEWS事業

業務用アミューズメント機器事業

国内におきましては、遊技機事業とのシナジー効果を発揮した「パチスロレボリューションシリーズ」や、より遊びの要素を付加した「キッズメダルシリーズ」等の販売が堅調であり、海外におきましても、もはや定番化しつつあるシューティングゲーム等を販売し、売上高は35億18百万円(前年同期比5.1%の増)となりましたが、今後の海外展開のひとつの柱でもある「ATOMISWAVE(アトミスウェイブ)」の開発にともなう研究開発費等により営業利益は1億28百万円となりました。

(単位:台)

業務用ゲーム機器	
パチスロレボリューションシリーズ	2,569
ギルティギア イグゼクス(マザーボード・キット)	3,371
トロフィーハンティング	1,000
キッズメダルシリーズ	826
ジャンピングドッグ	450

家庭用テレビゲームソフト事業

人気パチスロ遊技機のシミュレーションゲーム、「実戦パチスロ必勝法!アラジンA」が約20万本のヒットとなったほか、開発受託業務も順調に推移し、売上高は28億89百万円(前年同期比20.5%の増)となりましたが、本格的な海外展開に向けた開発体制の強化による人件費の増加およびソフト開発にともなう研究開発費の増加により、営業損失は14億16百万円となりました。

(単位:台)

家庭用テレビゲームソフト	
実戦パチスロ必勝法!アラジンA(PS2)	193,524
大戦略1941(PS2)	22,194
頭文字D Another Stage(GBA)	21,770
実戦パチスロ必勝法!サミーズコレクション(PS2)	16,658

その他事業

アミューズメント施設の運営のほか、パチスロ遊技機をモチーフにした携帯電話コンテンツサイト「サミー 777 タウン」が開始から1年で累計50万人を突破したのをはじめ、「サミーパチ スロタウン」、「サミーEZタウン」を各携帯電話の公式サイトに開設し、各サイトの会員が着実に増加するなどの好調を受け、売上高は9億40百万円(前年同期比34.7%の増)となりましたが、新規連結子会社の連結調整勘定の償却等により営業損失は17百万円となりました。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表		当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表
	(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)	(平成14年3月31日現在)		(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)	(平成14年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	30,242	33,514	22,580	支払手形及び買掛金	22,692	25,090	25,640
受取手形及び売掛金	42,284	40,557	53,812	短期借入金	9,333	6,290	5,959
有価証券		10		未払法人税等	14,777	18,039	19,538
棚卸資産	19,358	15,171	17,224	賞与引当金	1,027	881	1,012
その他	12,989	5,036	12,873	その他	8,217	8,101	10,401
貸倒引当金	787	427	784	流動負債合計	56,048	58,402	62,552
流動資産合計	104,087	93,862	105,706	固定負債			
固定資産				長期借入金	2,416	2,100	3,260
有形固定資産	12,576	10,613	11,840	退職給付引当金	743	524	675
無形固定資産				役員退職慰労引当金	739	683	659
連結調整勘定	992	678	1,033	その他	2,229	1,160	1,637
その他	1,502	1,560	1,513	固定負債合計	6,129	4,468	6,232
無形固定資産合計	2,495	2,238	2,547	負債合計	62,177	62,871	68,785
投資その他の資産				(少数株主持分)			
投資その他の資産	7,388	6,511	6,964	少数株主持分	680	139	646
貸倒引当金	277	214	256	(資本の部)			
投資その他の資産合計	7,111	6,297	6,708	資本金	8,007	7,949	7,966
固定資産合計	22,183	19,149	21,096	資本剰余金	9,002	8,944	8,960
資産合計	126,270	113,012	126,803	利益剰余金	48,025	33,043	40,172
				その他有価証券評価差額金	127	39	117
				為替換算調整勘定	56	24	154
				自己株式	1,808	0	0
				資本合計	63,412	50,001	57,370
				負債、少数株主持分 及び資本合計	126,270	113,012	126,803

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度の 要約連結損益計算書
	(自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
売上	84,068	93,335	164,293
売上原価	36,091	35,210	67,808
売上総利益	47,976	58,125	96,485
販売費及び一般管理費	20,436	23,507	42,462
営業利益	27,540	34,617	54,022
営業外収益	109	62	448
営業外費用	342	529	702
経常利益	27,306	34,151	53,768
特別利益	20	0	57
特別損失	3,667	693	6,874
税金等調整前中間(当期)純利益	23,659	33,457	46,952
法人税、住民税及び事業税	14,411	17,755	24,465
法人税等調整額	1,700	1,057	1,389
少数株主利益(は損失)	112	18	30
中間(当期)純利益	10,836	16,777	23,906

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度の 要約連結剰余金計算書
	(自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	8,960	5,936	5,936
資本剰余金増加高			
増資による新株式の発行	41	3,008	3,024
資本剰余金中間期末(期末)残高	9,002	8,944	8,960
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	40,172	18,055	18,055
利益剰余金増加高			
中間(当期)純利益	10,836	16,777	23,906
利益剰余金減少高			
配当	2,670	1,536	1,536
役員賞与	312	253	253
利益剰余金中間期末(期末)残高	48,025	33,043	40,172

連結セグメント情報

当中間連結会計期間(自 平成14年4月1日～至 平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	遊技機	業務用アミューズメント機器	家庭用テレビゲームソフト	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	76,718	3,518	2,889	940	84,068		84,068
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	6	1	452	2	462	(462)	
計	76,725	3,520	3,342	943	84,530	(462)	84,068
営業費用	44,684	3,391	4,758	960	53,794	2,733	56,528
営業利益(又は営業損失)	32,040	128	1,416	17	30,735	(3,195)	27,540

日本国内

パチスロ・パチンコ事業関連

会社名	事業内容
(株)ロデオ	パチスロ機開発と販売
秀工電子(株)	パチンコホール周辺機器製造・販売
(株)サミーデザイン(秀工電子100%出資)	パチンコホール設計

NEWS事業関連

会社名	事業内容
(株)サミー・アミューズメントサービス	アミューズメント機器のレンタル・店舗運営
(株)アンダーグラウンド・リベレーション・フォース	音楽コンテンツ制作
(株)クワットテクノロジー	ゲームソフト開発支援ツール開発
(株)ディンプス	総合デジタルコンテンツ制作
(株)エスアイエレクトロニクス	デバイス開発
アレグリア(株)	ネットコンテンツ等の企画・開発・運営

平成14年11月末、子会社である(株)スパイクの全株式を(株)ゲオ社に譲渡する予定です。

海外

会社名	事業内容
Sammy Holding Co., Inc.	海外グループ会社を統括
Sammy USA Corporation	業務用ゲーム機の開発・販売
Sammy Europe Ltd.	業務用ゲーム機・家庭用ゲームソフトの販売
Sammy Studios, Inc.	家庭用ゲームソフトの開発・販売
RTzen, Inc.	ゲームソフト開発支援ツール開発

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度の要約 キャッシュ・フロー計算書
	(自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,693	21,304	13,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,022	4,916	6,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,917	3,720	2,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	19	106
現金及び現金同等物の増加額	7,682	20,089	9,221
現金及び現金同等物の期首残高	22,535	13,313	13,313
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	30,217	33,403	22,535

連結キャッシュ・フロー計算書概況

当上半期における現金及び現金同等物は76億82百万円増加し、当上半期末残高は302億17百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して86億10百万円減少し、126億93百万円のプラスとなりました。これは主に税金等調整前中間純利益が97億98百万円減少するとともに法人税等の支払額が108億6百万円増加した影響であります。売上債権の減少によりこれらの一部が相殺されております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して18億93百万円減少し、30億22百万円のマイナスとなりました。これは主に有形固定資産および無形固定資産の取得支出の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して56億38百万円減少し、19億17百万円のマイナスとなりました。これは主に株式発行による収入の減少や自己株式の取得ならびに配当金の支払いによるものであります。

中間個別財務諸表

中間個別貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末	前中間会計期間末	前事業年度の要約貸借対照表		当中間会計期間末	前中間会計期間末	前事業年度の要約貸借対照表
	(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)	(平成14年3月31日現在)		(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)	(平成14年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	23,287	30,013	17,398	支払手形	11,668	20,113	14,586
受取手形	12,694	20,230	17,662	買掛金	10,123	2,295	7,522
売掛金	28,157	15,972	31,383	短期借入金	8,600	4,400	4,600
棚卸資産	17,562	12,773	13,505	未払法人税等	14,075	17,110	17,942
短期貸付金	6,950			賞与引当金	937	797	895
その他	11,780	6,507	13,988	その他	6,132	5,930	9,970
貸倒引当金	4,521	310	628	流動負債合計	51,537	50,646	55,517
流動資産合計	95,911	85,187	93,309	固定負債			
固定資産				長期借入金	1,500	2,100	1,800
有形固定資産	10,824	10,243	10,762	退職給付引当金	609	469	524
無形固定資産	1,283	1,311	1,243	役員退職慰労引当金	732	636	655
投資その他の資産				その他	1,708	1,056	1,111
投資その他の資産	12,278	7,961	12,034	固定負債合計	4,551	4,262	4,090
貸倒引当金	96	80	1,081	負債合計	56,088	54,909	59,608
投資その他の資産合計	12,181	7,881	10,952	(資本の部)			
固定資産合計	24,289	19,435	22,959	資本	8,007	7,949	7,966
資産合計	120,200	104,623	116,268	資本剰余金	9,002	8,944	8,960
				資本剰余金合計	9,002	8,944	8,960
				利益剰余金	310	310	310
				利益準備金	34,585	15,785	15,785
				任意積立金	13,885	16,688	23,528
				中間当期未処分利益	48,781	32,783	39,624
				利益剰余金合計	128	37	109
				その他有価証券評価差額金	1,808	0	0
				自己株式	64,111	49,714	56,660
				資本合計	120,200	104,623	116,268
				負債・資本合計			

中間個別損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度の要約損益計算書
	(自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
売上高	77,164	80,038	142,394
売上原価	32,204	32,038	59,767
売上総利益	44,960	48,000	82,626
販売費及び一般管理費	17,458	14,639	30,671
営業利益	27,501	33,360	51,955
営業外収益	157	85	410
営業外費用	298	501	660
経常利益	27,360	32,943	51,705
特別利益	5	61	560
特別損失	3,399	675	7,666
税引前中間(当期)純利益	23,966	32,329	44,599
法人税、住民税及び事業税	13,800	16,900	22,800
法人税等調整額	1,960	1,105	1,576
中間(当期)純利益	12,127	16,534	23,375
前期繰越利益	1,758	153	153
中間(当期)未処分利益	13,885	16,688	23,528

● 会社が発行する株式の総数

200,000,000株

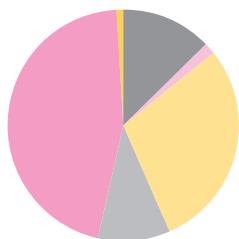
● 発行済株式総数

53,503,800株

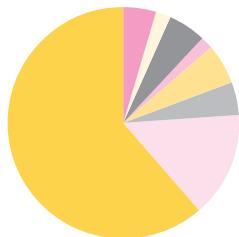
● 株主数

17,219名

● 株主の状況



所有者別状況	(%)
金融機関	12.63
証券会社	1.58
その他の法人	29.23
外国法人等	10.09
個人・その他	45.53
自己主義株式	0.94



所有株数別状況	(%)
1単元以上	4.57
5単元以上	2.10
10単元以上	5.29
50単元以上	1.72
100単元以上	5.63
500単元以上	4.60
1,000単元以上	14.71
5,000単元以上	61.38

● 大株主

株主氏名	所有株式数 (株)	持ち株比率 (%)
里見 治	13,013,260	24.32
(株)エス・エス・プランニング	10,106,000	18.88
(有)エフエスシー	4,294,800	8.02
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,339,800	4.37
原野 直也	1,007,200	1.88
ゴールドマンサックス インターナショナル	950,600	1.77
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	628,750	1.17
サミー株式会社	500,300	0.93
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	444,100	0.83
UFJ信託銀行(株)	433,300	0.80

(2002年9月30日現在)

平成14年6月21日開催の当社定時株主総会にて決議されました350万株、200億円を上限とした自己株式取得に基づき、平成14年8月に50万株の自己株式の取得を実施しました。また、平成14年11月1日から平成14年11月21日の期間、300万株を上限として自己株式の公開買付を実施しております。

会社データ

本社所在地

〒170-8436
東京都豊島区東池袋2-23-2

設立年月日

1975年11月1日

資本金(2002年9月30日現在)

8,007百万円

従業員数(2002年9月30日現在)

単体:877人
連結:1,349人

主な事業

ばちこ遊技機、回胴式遊技機(パチスロ機)、アレンジボール遊技機、じゃん球遊技機および関連機器の開発・製造・販売

電子応用遊技機の製造・販売および家庭用テレビゲームソフトの開発・販売

ゲーム機器の販売・リースおよび輸出入

役員(2002年9月30日現在)

代表取締役社長	里見 治
専務取締役	片本 通
常務取締役	中山 圭史

	崎野 清文
	鈴木 義治
取締役	吉田 賢吉
常勤監査役	真茅 守
	荒井 良一
監査役	酒井 悦夫

執行役員

上席執行役員	原田 紀彦
--------	-------

	青木 民男
執行役員	川村 康則
	片山 靖浩
	河村 芳隆
	吉野 昌和
	小宮 隆
	内田 典男
	吉澤 秀男

ネットワーク

本社 東京都豊島区東池袋2-23-2
川越工場 埼玉県川越市南台1-10-8
商品管理センター 埼玉県狭山市大字中新田112-1
支店 札幌、仙台、東京(台東区)、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所 帯広、青森、盛岡、新潟、郡山、高崎、つくば、さいたま、千葉、横浜、静岡、金沢、京都、神戸、岡山、高松、大分、宮崎

連結対象子会社

Sammy USA Corporation
901-Cambridge Drive Elk Grove Village, IL60007 USA

株式会社サミー・アミューズメントサービス
東京都豊島区東池袋3-23-13

株式会社アンダーグラウンド・リベレーション・フォース
東京都港区東麻布2-8-8

株式会社クワットテクノロジー
東京都港区三田1-10-4

株式会社ロデオ
東京都豊島区東池袋2-23-2

株式会社ディンプス
大阪府豊中市新千里西町1-1-8

Sammy Europe Ltd.
1st Floor, Healthaid House Marlborough Hill, Harrow
Middlesex HA1 1UD, UK

Sammy Studios, Inc.
Century Plaza Towers, 2049 Century Park East,
Suite 2750, Los Angeles, CA90067 USA

株式会社エスアイエレクトロニクス
東京都港区三田1-10-4

秀工電子株式会社
東京都豊島区東池袋5-44-15

株式会社サミーデザイン
東京都豊島区東池袋5-44-15

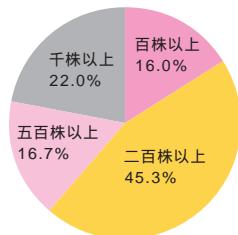
RTzen, Inc.
16350 SE 66th Street Bellevue, WA98006 USA

アレグリア株式会社
東京都千代田区神田小川町3-8

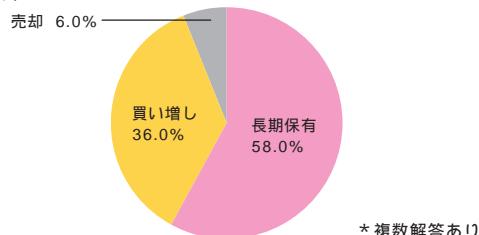
株主の皆様からのアンケート結果

「第27期報告書」において、株主の皆様へアンケートのご協力をお願いしたところ、多くの方々からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果の一部をここにご紹介致します。

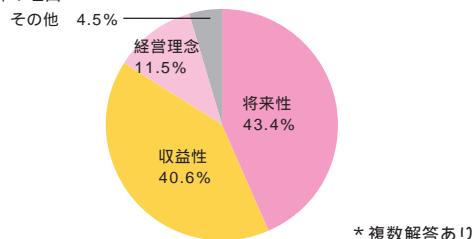
株式保有数



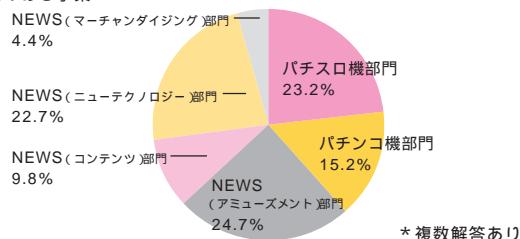
持ち株方針



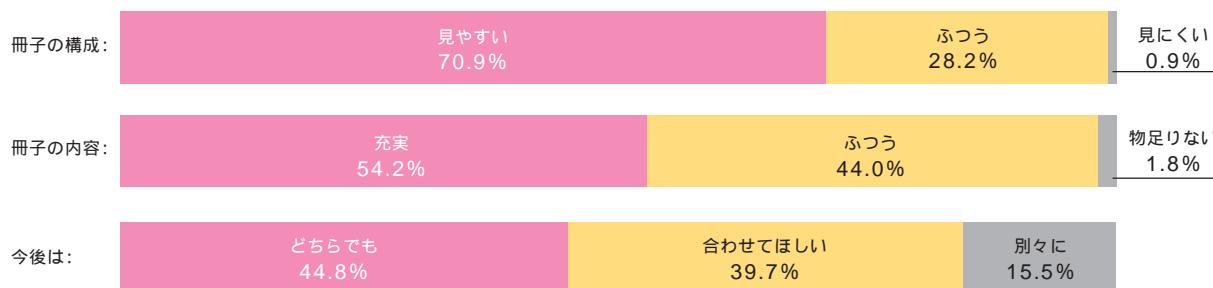
持ち株方針の理由



興味のある事業



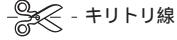
今回、弊社の営業報告について、より一層のご理解を頂くために、事業報告書と株主総会招集通知添付書類を合わせた形で作成しました。お読みになったご感想は？



株主の皆様へ アンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声を経営に反映させるべく、アンケートを実施させていただくことにいたしました。お手数ではございますが、アンケートの質問事項をお読みいただき、回答をご記入の上、ご投函下さい。

皆様のご協力をお願い申し上げます。



- キリトリ線 -

株主の皆様へ アンケートのお願い

【1】当社の保有株式数をお聞かせください。

100株 200株以上 500株以上 1,000株以上

【2】当社の株式を保有されて、どのくらいになりますか。

半年未満 一年未満 二年未満 二年以上

【3】今後、当社の株式についてどのような方針をお持ちですか？

長期保有 買い増し 売却

上記方針の材料は何ですか？

将来性 収益性 経営理念

その他)

【4】当社の企業情報収集にインターネットをご活用されていますか。

活用している 活用していない 検討中

と回答された方へ 主な情報収集源は何ですか？

当社ホームページ パチンコ業界サイト ネット掲示板
証券会社ホームページ その他)

【5】余暇はどのようにお過ごしですか？

パチスロで遊ぶ パチンコで遊ぶ テレビゲームで遊ぶ
ゲームセンターに行く その他)

【6】その他、ご意見があればお願いいたします。

()

ご住所 〒 _____

都道府県

お名前: _____ (男性・女性) 年齢

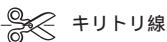
e-mail _____

e-mailアドレス(携帯アドレスは除く)をご記入頂いた方には、当社インターネットIRホームページの更新情報等をメールにてお送りいたします。

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
株主確定基準日	利益配当金:3月31日 中間配当を行う場合:9月30日 その他必要ある場合はあらかじめ 公告いたします。
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒137-8082 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単位の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞



キリトリ線

郵便はがき

1 7 0-8 7 9 1

7 0 5

料金受取人払

豊島局承認

5830

差出有効期限
平成15年12月
1日まで

東京都豊島区東池袋2-23-2

サミー株式会社

広報部 行



〒170-8436 東京都豊島区東池袋2-23-2

TEL: 03-5950-3790

URL: <http://ir.sammy.co.jp>

e-mail: ir@home.sammy.co.jp